

平成30年6月21日現在

機関番号：34305

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02346

研究課題名(和文) モダニズムの大衆化と英米プリント・カルチャーの戦略の関係についての研究

研究課題名(英文) Study on the relationship between the popularization of Modernism literature and the strategies of British and American print culture

研究代表者

金澤 哲 (Kanazawa, Satoshi)

京都女子大学・文学部・教授

研究者番号：70233848

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の第一の成果は、アメリカの出版社がモダニズム文学出版の際に採用した戦略や、当時の雑誌で展開された作家と写真家の共同作業などの分析を通し、文学が作家と出版社との戦略的相互依存関係に基づいていることを示したことである。  
第二の成果は、大戦間のプリントカルチャーで重要な役割を果たしたリトルマガジンにおいて、大西洋にまたがる文化圏を形成しようとする動きがあったことを具体的に明らかにしたことである。

研究成果の概要(英文)：This study shows, first, the mutual dependence between modernist authors and their publishers by analyzing the strategies the publishers employed to promote and popularize such modernist authors as James Joyce and William Faulkner. Their close relationship implies the economical and strategical base upon which the Modernism literature founded itself. Second, this study explores the important role the little magazines played in the print culture during the world wars and discovers an instance of the Modernism movement that tries to develop the trans-Atlantic cultural relationship.

研究分野：アメリカ文学

キーワード：モダニズム プリントカルチャー 出版文化 宣伝戦略

## 1. 研究開始当初の背景

モダニズム研究の進展の中、モダニズム文学を当時の出版社の販売・宣伝戦略との関連から捉えようとする研究は 2000 年代より始まっていたが、それらは Joyce や Pound といったイギリスにおけるモダニズム成立期の作家・作品をおもな対象としており、アメリカにおける同様の事象は注目されていなかった。またリトルマガジンや写真を売り物にした商業雑誌といったメディアとモダニズムの関連も、未開拓の状態であった。

このような状況の下、本研究は 1920 年代から 1930 年代にかけて設立された英米を代表する出版社と、それら出版社がプロモートした英米モダニスト・テキスト (T.S. Eliot の詩、William Faulkner の小説、雑誌メディアに掲載されたモダニズム的エッセイ・報道記事) との関係に焦点をあわせることにより、大戦間期におけるモダニズムの大衆化とメディア戦略との因果関係を実証的に明らかにしようとした。

## 2. 研究の目的

本研究は、大戦間期における英米出版社によるモダニスト文学のプロモーションに注目し、モダニズムの大衆化とメディア戦略との因果関係を明らかにすることを目的とする。具体的には、以下の 2 点である。

モダニズム文学を芸術至上主義的孤高の文学としてとらえる見方を脱し、英米モダニズム文学と出版社の販売戦略との密接な相互依存的关系を明らかにする。

英米モダニズム作品の出版過程などに注目することで、大戦間に環大西洋プリント・カルチャーが生成していく過程を具体的に明らかにする。

## 3. 研究の方法

本研究においては、大戦間期の個別出版社におけるモダニズム・プロモーションの実態を一次資料から実証的に研究することにより、各出版社によるモダニズム大衆化の戦略を明らかにするとともに、同時期の環大西洋プリントカルチャー成立の様相を確認していく。具体的な構成は、以下のとおりである。

英国出版界を代表する Faber & Faber 社における T.S. Eliot の詩人 / 編集者としてのインターナショナル・モダニズム形成の戦略についての調査

米国出版界を代表する Random House 社による米国モダニスト作家 William Faulkner のプロモーションと James Joyce などイギリス・モダニズム輸入にかかる戦略についての調査

新興雑誌メディアに掲載されたモダニズム的エッセイ・報道記事の政治的・戦略的活用についての調査

## 4. 研究成果

本研究においては、まず英米モダニズム文学を代表する作家 James Joyce および William Faulkner とアメリカの出版社 Random House 社の関係について、モダニズム文学の大衆化に出版社が果たした大きな役割を明らかにすると同時に、モダニズム文学という制度が作家と出版社の経済的・戦略的共生関係に基づいていることを示した。

具体的には、ランダムハウス社が当時猥褻本と見なされアメリカでの出版が実現していなかった *Ulysses* の出版にこぎ着け、さらにベストセラーとした背景には、難解と目されていたモダニズム文学を「ミドルブラウ」の読者層に受け入れさせるための周到な

宣伝戦略が存在していた。ランダムハウス社の社長ベネット・サーフは、出版を可能とするための裁判による知名度を最大限に生かすとともに、この本を実は親しみやすく面白い本として訴求し、そのために書籍広告史上に残る広告において作品のプロットや地図を示し、誰でも読めるモダニズム文学というイメージを確立したのである。

この成功を受けて、やがて同社がアメリカのモダニスト作家 Faulkner の *Absalom, Absalom!* 出版を手がけた際には、巻末に付録として年表と地図をつけることによって、難解な作品を読みやすくするという策が採用された。しかし、興味深いことにこの提案をしたのは作家 Faulkner の側であり、彼は当時のプリントカルチャーを理解し、出版社の販売戦略の有用性を認めていたのである。

だが、Faulkner は単に出版社の戦略に荷担するだけではなく、その戦略をさらに一捻りし、いわば作家の独自性を確保した。すなわち、付録の地図および年表には作品本文との間に少なからぬ食い違いがあり、そのため作品は相対化され、かつ分かりやすい作品解説という表向きの趣旨はパロディ化され、解体されているのである。

以上の調査により、本研究はモダニズム文学と当時のプリントカルチャーとの間の密接な相互依存的関係を明らかにするとともに、このような関係に内在する緊張と潜在的対立関係を指摘することができた。これがおもな成果である。

このほか、モダニズム文学と英米リトルマガジンの関係について、リトルマガジンが大戦間期における文学伝統の見直しの場として機能することで、モダニズムの発展に重要な役割を果たしたことを確認するとともに、リトルマガジンと深い関係を持つ T.S.Eliot が *The Waste Land* において戦略的に大西洋を横断した文化圏を形成しようとしたことを明らかにした。

写真を売り物とする新興雑誌メディアとモダニズム文学との関係については、モダニスト作家と写真家との関係を調査し、写真とモダニズム・テキストの共生が生み出した新しいプリントカルチャーの意義および雑誌メディアの販売戦略とモダニズム文学との間に存在した緊張関係を明らかにした。

以上により、モダニズムの大衆化とメディア戦略との相互依存的関係を明らかにするという目標は十分に達成できた。

また大戦間に環大西洋プリント・カルチャーが生成していく過程を具体的に明らかにするという目標についても一定の具体例を明らかにし、全体像に至る目途はつけることができた。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 4 件)

山本裕子、「移動性の法則—スノーブス三部作と地理的想像力—」, *フォークナー*、査読あり、19(2017) 39-59。

山本裕子、「『失われた世代』の戦争神話—Faulkner, *Soldiers' Pay*, 戦後印刷文化—」, *アメリカ文学研究*、査読あり、53(2017) 21-33。

出口菜摘、「モダニズム期のプリント・カルチャー リトル・マガジンについての論点と関連資料」, *コルヌコピア*、査読なし、26(2016) 61-77。

金澤哲、「ウィリアム・フォークナーと1930年代のプリント・カルチャー」, *英文学論叢*、査読なし、60(2016) 22-39。

[学会発表](計 10 件)

Yamamoto, Yuko. "On Common Ground: The Cartographic Imagination of William Faulkner and Walker Evans," *The Cartographic Imagination Conference*, 2018.

Yamamoto, Yuko. "When Faulkner Was in *Vogue*: Modernism and Women's Magazine at the Midcentury,"

International Conference LERMA, 2018.

Yamamoto, Yuko. "Hemingway and Faulkner at War: On Homecoming and the Persona of a Wounded Soldier,"

International Hemingway Conference, 2018.

Kanazawa, Satoshi. "William Faulkner, a Book Designer." 関西フォークナー研究会、2018。

金澤哲、「William Faulkner の *Pylon* における「作家」の問題」、日本アメリカ文学会全国大会、2017。

出口菜摘、「エマソンの歴史とスウィーニーの第一次世界大戦」、日本 T. S. エリオット協会第 30 回シンポジウム、2017。

金澤哲、「ウィリアム・フォークナーと 1930 年代のプリント・カルチャー」、日本アメリカ文学会関西支部例会、2016。

出口菜摘、「モダニズムにおけるプリント・カルチャーの役割 リトル・マガジンと T. S. エリオット」、日本 T. S. エリオット協会 第 29 回大会、2016。

Yamamoto, Yuko. "From Hemingway to Faulkner via Evans," *Faulkner and Hemingway*, 2016.

山本裕子、「ハヴァナからキーウエストへ—ヘミングウェイの「片道航海」とエヴァンズのキューバ写真」、日本ヘミングウェイ協会全国大会、2016。

〔図書〕(計 1 件)

貴志雅之、山本裕子、他 16 名。金星堂、『アメリカ文学における幸福の追求とその行方』、2018、271-288。

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

取得年月日 :

国内外の別 :

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

金澤 哲 (Kanazawa Satoshi)

京都女子大学・文学部・教授

研究者番号 : 70233848

(2) 研究分担者

出口 菜摘 (Deguchi Natsumi)

京都府立大学・文学部・准教授

研究者番号 : 80516138

山本 裕子 (Yamamoto Yuko)

千葉大学・大学院人文科学研究院・准教授

研究者番号： 80545377

(3)連携研究者

( )

研究者番号：

(4)研究協力者

( )